



World Leader in Rating Technology

OFFSHORE RACING CONGRESS



Standard Sailing Instructions
2016

1 主催団体

[クラスと選手権名を記入] は [主催団体名を記入]と[あれば、共催団体名を記入]の共催により[国のセーリング協会名を記入]の基に、オフショアレーシングコングレス（ORC）とインターナショナルセーリングフェデレーション（World Sailing）の総合的な管理によって開催される。

2 ルール

2.1 大会はレーシングルールオブセーリング（RRS）で規定されるルールによって行われる。

2.2 以下のルールも適用される：

a) IMS ルール

b) ORC レーティングシステムルール

c) ORC チャンピオンシップルール

d) [クラス名を記入] クラスルール [ORC クラスのために]

e) ワールドセーリング外洋特別規定

（スポーツボートを除き、全レースはカテゴリー3を適応でライフラフト搭載・非搭載は主催団体とORCで決定される）スポーツボートに付いては、ORCスポーツボートルールが適応される。）

2.3 ナショナルオーソリティーの指示は適応されない。

2.4 言語間の問題が生じたら、英語版が優先される。

2.5 レーシングルールオブセーリングのパート2は、国際海上衝突予防法のパートBに地方時間の[日時を記入]から [日時を記入]まで置き換えられる。

[DP] 2.6 この帆走指示書の付則1はバウナンバーに適用される。バウナンバーに関する抗議はレース委員会のみが提出できる。これはRRS60.1と60.3を変更している。

3 クラス

艇はCDL(Class Division Length)に従い以下のようにクラスに分けられる。

ORC A 17.0 >= CDL > 11.6

ORC B 11.6 >= CDL > 9.7

ORC C 9.7 >= CDL > 8.5

（主催団体は、ORCにCDLの下限値を必要なら8.0に変える許可を出来る）。チャンピオンシップルール6.2によって、主催団体は最小数値が適合しない場合2クラスにグループ分けする権利を有する。この場合、組み合わせられたクラスの一つのチャンピオンシップタイトルのみが与えられる。[もしクラスが50の参加艇を越えればORCと合意が必要なHeat Racing Systemの方法を示し、帆走指示書に付則として加える]

クラスは独立したスタートと成績が与えられる

4 参加者への通知

参加者への通知は、[位置を記入]に設置された公式掲示板にて通知される。通知は大会ウェブサイトにも掲示される。

5 セーリングインストラクションの変更

いかなる帆走指示書の変更はそれが効力を発する前の[時刻を記入]以前に公示されねばならない。レースのスケジュールの変更については、それが効力を発する日以前の [時刻を記入]までに公示されねばならない。

6 陸上の信号

6.1 陸上の信号は[場所を記入]で発せられる。

6.2 AP旗が発せられた場合は、'1分'はレース旗APの[数字を記入]分以下に置き換えられた。を示す。

7 レース予定

（NORの8項に適合する）

7.1 最初の予告信号が発せられる時刻は以下の通りである：

[日を記入] [月日を記入] [時刻を記入] [レースタイプ（インショアかオフショアか）]

[日を記入] [月日を記入] [時刻を記入] [レースタイプ（インショアかオフショアか）] 等 …

主催団体又はレース委員会は上記の予定を天気状況やその他の予測不能な事態を理由に変更する事が出来る。

- 7.2 以下を含む9レースが予定される：
- [2つのレース（スタートして最初の管理ポイントまでと、スタートからフィニッシュまで）を得点とする外洋レース] 又は [2つの外洋レース].
- 7つのインショアレース
注意：大陸又は、地域の選手権ではファン祝された予定が使用される：7つのレース
- 1つの外洋レース
- 6つのインショアレース
- 7.3 一日に最大[数字を適切な場合記入] レース以上は実施されない。フィニッシングラインで[旗を記入]旗が掲示された際は、” 現在進行中のレースの後にもう1レースが実施される” を意味する。次のレースの予告信号は、[旗を記入]旗の降下と1音響信後1分後に掲示される。
- 7.4 大会の最終日に[時刻を記入]以降は、ゼネラルリコールやレース延期（AP 旗）の掲示がその最初の予告信号が[時刻を記入]以前に発せられていない限り、予告信号が発せられる事は無い。

8 クラス旗

クラス旗は [旗名を記入]とする。

9 スタート

- 9.1 レースは以下のクラスの順番でスタートする：Races will be started in the following class order: [クラスを記入], [クラスを記入].
その次のクラスの予告信号は、その前のクラスのスタート信号と同時に掲示され、その他のクラスが未だレース中にも掲示される。
(この項目は帆走指示は、フリートが幾つかのクラスに分けられた場合にのみ使用の事)
- 9.2 スタート信号の、インショアレースにおいて[数を記入]分以後に、オフショアレースにおいては[数を記入]分以後にスタートした艇はDNSの得点とされる。これはRRS A4.1を変更している。
- 9.3 個別のリコール艇あり信号後、レース委員会はスタートをしていなくてOCSとされている艇のセール番号・バウ番号・船名等をVHFのチャンネル[数字を記入]で通知する事を努める。この通知の遅れや不履行は救済の要求の対象にはならない。これはRRS 62.1(a)を変更している。

10 ペナルティシステム

- 10.1 ゾーン外での第2章のルール違反へのペナルティはワンターンペナルティ（ワンタックワンジャイブ）とする。これはRRS 44.1を変更している。
- 10.2 得点のペナルティ、RRS 44.3, はオフショアレースのみに適用される。
(もしオフショアレースに2回転ペナルティが適用されない場合にのみ挿入の事)
- 10.3 オフショアレースには、RRS 28 は以下のように変更される：
(a) 規則 28.1, 最初の文章は削除され以下の文章に換えられる：
スタート信号時かその後に完全にスタート前ゾーンに完全に位置している艇はスタートラインを横切り、帆走指示書に記載されているコースを帆走してフィニッシュ出来る。
(b) 規則 28.2, の最初の文を削除して、以下に換わる：'糸は、それが強く張られた際に、艇がプリスタートライン側からスタートラインに近づき、それを横切ってフィニッシュするまでの航す、
(c) 新しい規則 28.3 ペナルティを加える：
規則 28.1 で必要とされるようにスタートラインを横切らない艇は、RRS44.3 で規定されている20%の得点ペナルティを受ける。これはRRS A4 とA5 を変更している。得点のペナルティはもしパート2が完走されれば、パート1とパート2とを同等に分けられる（オフショアレースが2つの部分となるように予定されているのみに使用する事）
- 10.4 RRS A4.2又はRRS 44.3（帆走指示書10.2が適用される時に限りRRS 44.3を記入する事）に基づいて割り当てられるオフショアレースにおけるペナルティの得点はオフショアレースのパート1で違反が発生した際はパート1のみに適用され、もし違反がパート1とパート2のフィニッシュラインの間で起こった際はパート2にのみ適用される。
(これはオフショアレースが2つのパートを持つ1つのレースとして予定された場合に使用の事)
- 10.5 計測のペナルティはオフショアレースのパート1とパート2共に適用出来る。(これはオフショアレースが2つのパートを持つ1つのレースとして予定された場合に使用の事)
- 10.6 外洋特別規定の軽微な違反、ORC 選手権規則の7.1と7.2、RRS 55と[DP]のマーク付きの帆走指示に対しては、ジュリーはその裁量について失格に代わるいかなるペナルティを課す、又はペナルティを課さない事が出来る。

11 抗議と救済の要求

- 11.1 RRS 61に準拠する事に加えて、抗議する艇はフィニッシュカリタイヤの後、出来るだけ早く抗議する意思と抗議する相手艇をレース委員会に報告せねばならない。
- 11.2 抗議書はレース事務所で受け取れる。抗議は以下の制限時間までにそこに提出できる：

- a) インショアレース： その日の最終レースに最終艇がフィニッシュして[数字を記入]時間後まで。同じタイムリミットはレース委員やインターナショナルジュリーがレースエリアで目撃した事項への抗議や救済の要求（下のc）で許される事を除き）にも適用される。
- b) オフショアレースの場合： 抗議艇のフィニッシュ後 [数字を記入]時間以内に。夜間にフィニッシュした場合、抗議は次の日の[数字を記入]時から[数字を記入]時まで提出できる。
- 11.3 参加者が団体であっても証言者であっても審問の通知は以下のように告知される：
 - a) 風上風下レースでは、抗議締め切り時間の30分以内
 - b) オフショアレースでは、抗議に関係する全艇のフィニッシュ30分以内、但し、抗議の告知が[オフショアレースの日を記入]の[時間を記入]から[オフショアレースの日を記入]の[時間を記入]までに通知されない時を除く。
- 11.4 レガッタの最終日には以下の際に、ジュリーの決定への審問再開や、救済の要求が出来る：
 - a) 抗議の受付時間内で、再開の要求をする団体が前日の決定が報告された場合、
 - b) 再開の要求をする団体がその日の決定の報告がされた後、30分以前までに、これは、RRS 66. を変更している。
- 11.5 RRS N1.4(b)が適用される場合、タイムリミットは決定後30分とする。
- 11.6 インタナショナルジュリーの決定は RRS 70.5. に従って最終である。

12 得点

- 12.1 風上/風下レースの結果は[スコアリング方式を挿入]によって計算される修正時間で決定される。
- 12.2 オフショアレースの結果は[スコアリング方式を挿入]によって計算される修正時間で決定される。
- 12.3 スコアリング方式と使用されるスコアリングパラメーターの決定はレース委員会が唯一の裁量によるもので、コース長さやコースの方向と風速と共に、救済の要求の根拠とはならない。これは RRS 60.1(b) を変更している。
- 12.4 選手権は、最低インショア4回とオフショア1回、最低インショア3回とオフショア2回のレースが成立すれば有効である。7 レースが成立すれば1つの捨てレースを採用出来るが、オフショアがシリーズの中で1回のみ成立の場合は捨てレースは採用出来ない。
注意：短い日程が使用される大陸や地方の選手権大会では、最低3回のインショアと1回のオフショアレースが成立すれば有効で、5レース成立の場合1つの捨てレースを採用出来る。

13 安全規則

- [DP] 13.1 いかなる理由でどのレースからでもリタイアするヨットは速やかにレース委員会に報告せねばならない。
- [DP] 13.2 人命救助、援助などどの理由であれプロペラ推進目的でエンジンを使用した場合は、帰着次第にその行動を取った理由をレース委員会に書式で報告せねばならない。そのレースで重大な有利さを得ていなければインターナショナルジュリーは任意のペナルティーを課す事が出来る。

14 乗員と装備の交換

- [DP] 14.1 インターナショナルジュリー [又はレース委員会] は、予定されたその日の最初のレースのスタート時間の[数を挿入]時間前までに、文書による艇長の要求をもって乗員の交代（新しい乗員の追加、交代または降艇）を認可する事が出来る。交代する乗員はその他のいかなるシリーズ中のレースにも他の参加艇に乗艇出来ない。コリンシャンクラスで交代する乗員は有効なワールドセーリングのグループ1セーラーで無ければならない。もしそうで無ければ、エントリーはオープンクラスとして扱われる。
- [DP] 14.2 損傷したか紛失した装備品の交換は、インターナショナルジュリー[又はレース委員会]の認可無しでは許されない。交換許可のジュリーへの申告は、最初の合理的な機会になされねばならない。

15 装備と計測の点検

艇、又はその装備はクラス規則や帆走指示書への適合性を何時でも点検される。水上でもハーバー帰着後であっても、艇はメジャラーによってVHF [チャンネルを記入]を含む方法によって直ちに点検作業に入る旨が通知される。

16 運営艇

- 16.1 公式運営艇は[色を記入]旗を掲示する。いかなる運営艇の識別旗掲示の過誤も救済の要求の根拠とはならない。これは RRS 62.1(a) を変更している。
- 16.2 報道、写真、フィルム、VIP など用の艇はレース委員会の管轄には無い。これらの艇のいかなる行動も救済の要求の根拠とはならない。これは RRS 62.1(a) を変更している。

[DP] 17 支援艇

全ての支援艇はスタート水面から十分に離れなければならない。予告信号後はどの参加艇の100メートル以内に近づいてはならない。この帆走指示書の違反に対しては、関係する艇の得点ペナルティーと、もしくは1日以上レース水面立ち入り許可の取り消しとされる事がある。

[DP] 18 上架の制限

[参加登録の最初の日を記入]の09:00以降、参加艇は損傷の修理を目的にインターナショナルジュリーから書面での許可の取得後を除いて、上架は出来ない。

この目的で上架中は、水線下の艇体を洗浄したり磨いたりしては行けない。シリーズ中は艇体付加物は艇から外してはならない

19 通信

19.1 レガッタ中、レース委員会との無線通信はVHF [数字を記入]チャンネルを使用。レース委員会はどのレース信号もVHFの [数字を記入]チャンネルで口頭にて確認する事がある。

放送やそのタイミングの過誤は救済の要求の根拠とはならない。これはRRS 62.1(a)を変更している。

[DP] 19.2 レース委員会との通信を除き、レース中の艇は送信や、参加全艇が公的に受信可能な情報の受信をしてはいけない。これはRRS 41. を変更している。

20 トロフィーと賞

[コリンシャンとオーナー/ドライバートロフィーがあればそれを含むトロフィーと賞のリストをそれぞれの要件と共に挿入]

21 免責事項

レガッタに参加する者は自己のリスクと責任によるものとする。主催団体 [クラブを記入], [その国のセーリング協会を記入]、ORGと[選手権名を記入]の運営に関与するその他の全ての団体は、大会に参加した結果によって陸でも海上でも発生する滅失、損傷、負傷や不利益について何らの責任を負わない。参加艇のオーナーや代表者は参加申込書にサインする事でこれらの条件を了解する。参加者への注意はワールドセーリングの第1章基本ルール4に想起される。：スタートをするかしないか、レースを続けるかの決定は艇の責任にある。

パート 2 - インショアコース

(コースは1.5から2時間の所要時間となるよう計画されるべき)

23 コース

23.1 添付の図[番号を記入]はコースと、レグ間のおよその角度、廻航するマークの順番とそのサイドを示す。

23.2 準備信号より前に、本部船は第1レグのおよそのコンパス方位を掲示する。

24 マーク

24.1 マーク [図から番号か数字を記入]は [説明を記入] とする。

24.2 25.1で指示される新しいマークは[説明を記入] とする。

25 コースの次のレグの変更

コースの次のレグの変更には、レース委員会は実際的に出来るだけ早く新しいマークを設置して元のマークを排除する。新しい風上マークはオフセットマーク無しとなる。

26 スタートライン

スタートラインはスタボードエンドの[説明を記入]とポートエンドの[説明を記入]の間とする。

27 フィニッシュライン

フィニッシングラインは[説明を記入]と[説明を挿入]の間とする。

28 タイムリミット

最初のボートがフィニッシュするタイムリミットは[コース長さを NM/3 として計算した時間を記入]。最初の艇がコースを走りフィニッシュした後[時間を記入]までにフィニッシュ出来なかった艇は、DNFの得点となる。これはRRS 35 と A4 を変更している。

注意：最初の艇がフィニッシュした後のタイムリミットは、最も遅い艇と最も速い艇のGPH、又は6ノットのタイムアローワンスの差に基づき、適切な要素を乗じる。

パート3 - オフショアコース

(もし2つの個別のオフショアレースが計画されていれば、このセクションは個々のオフショアコースとして繰り返され、最初のフィニッシングラインの関連記述は無視する事)

29 コース

コースは：スタート - [通過されるべきマークとそのサイドを記入] - [水域を記入]に設定される最初のフィニッシングライン- [通過されるべきマークとそのサイドを記入]- [水域を記入]に設定される2番目のフィニッシングライン。 オフショアレースは2つのレースとして得点され：最初のオフショアレースは[水域を記入]をスタートし、コースのおよそ中間となる[水域を記入]の最初のフィニッシュラインまでと、第2のオフショアレースは[水域を記入]のスタートから[水域を記入]の第2のフィニッシュラインまでとする。

30 マーク

マーク [図から番号か数字を記入] は [説明を記入] とする。

31 風上マーク

レース委員会は、必要な場合は風上へのスタートを設定するために風上マークを設置する。風上マークが設置される場合は、スタート水面からおよそ1海里で、予告信号前にマークをポートに見て回るよう指示する赤色旗か、マークをスタボードに見て回るよう指示する緑色旗を掲示する。

32 スタートライン

スタートラインはスタボードエンドの[説明を記入]とポートエンドの[説明を記入]の間とする。

33 フィニッシュライン

- 33.1 最初のオフショアレースのフィニッシングラインは、[説明を記入]と[説明を記入]の間とする。
- 33.2 第2のオフショアレースのフィニッシングラインは、[説明を記入]と[説明を記入]の間とする。

34 タイムリミット

- 34.1 オフショアレースの最初の部分にはタイムリミットは無い。
- 34.2 最初のボートがフィニッシュするタイムリミットは[コース長さをNM/3として計算した時間を記入]。最初の艇がコースを走りフィニッシュした後[時間を記入]までにフィニッシュ出来なかった艇は、タイムリミットの間にはスタートしてフィニッシュした艇の数と同じ得点に1を加えた点が与えられる。これはRRS 35 とA4. を変更している。

注意：最初の艇がフィニッシュした後のタイムリミットは、クラスかフリートの中で最も遅い艇と最も速い艇のGPH、又は6ノットのタイムアローワンスの差に基づき、適切な要素を乗じる。

[DP] 35 夜間のフィニッシュ

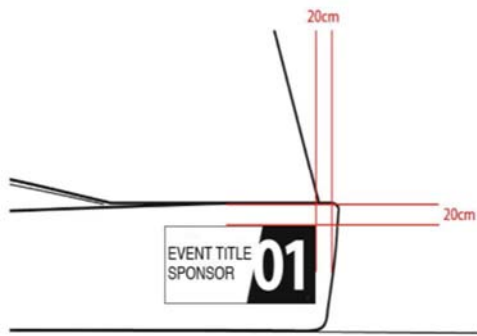
夜間にフィニッシュする艇は、フィニッシュする際に番号を照明せねばならない、そして疑わしい時はフィニッシュした後にレース委員会に自分で識別努力をせねばならない。

[DP] 36 位置の報告

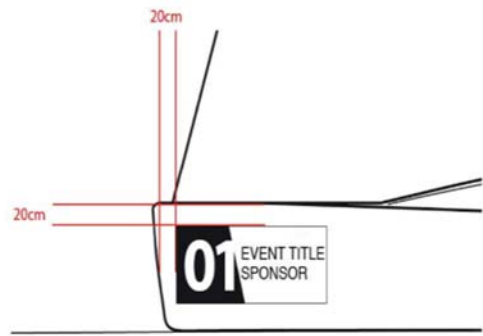
[時間と連絡方法を含む位置の報告の必要項目をあれば記入].

付則1-バウナンバー

バウナンバーは出来るだけ前方に取付けられねばならない。



CORRECT



NOT CORRECT



Copyright © 2016 Offshore Racing Congress.

Cover picture: ORC European Championship, Parnu, Estonia 2015
by courtesy Max Ranchi